



2023年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年12月8日

上場会社名 株式会社ビューティガレージ 上場取引所 東
 コード番号 3180 URL <https://www.beautygarage.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役CEO兼COO (氏名)野村 秀輝
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員経営管理グループ統括 (氏名)齋藤 高広 (TEL)03(6805)9785
 四半期報告書提出予定日 2022年12月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年4月期第2四半期の連結業績(2022年5月1日~2022年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年4月期第2四半期	12,644	10.2	509	△13.0	511	△12.4	348	7.8
2022年4月期第2四半期	11,475	37.1	585	65.9	583	61.2	323	63.6

(注) 包括利益 2023年4月期第2四半期 368百万円(7.7%) 2022年4月期第2四半期 342百万円(82.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年4月期第2四半期	55.23	—
2022年4月期第2四半期	51.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年4月期第2四半期	10,655	5,746	51.9
2022年4月期	10,548	5,468	50.0

(参考) 自己資本 2022年4月期第2四半期 5,534百万円 2022年4月期 5,270百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年4月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2023年4月期	—	0.00	—	—	—
2023年4月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年4月期の連結業績予想(2022年5月1日~2023年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,013	15.4	1,407	17.1	1,410	16.1	850	19.7	134.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年4月期2Q	6,376,000 株	2022年4月期	6,376,000 株
2023年4月期2Q	59,908 株	2022年4月期	65,755 株
2023年4月期2Q	6,312,724 株	2022年4月期2Q	6,297,065 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、全国的な新型コロナウイルスの感染拡大は落ち着きを見せつつあるものの、各種原材料価格・輸送費の高騰、円安の更なる進行等により、厳しい経済環境で推移致しました。

美容サロン業界におきましては、3月の行動制限解除以降、来店客数の増加や顧客単価の上昇など、徐々にではありますが回復基調となってきております。

そのような状況下、当社グループでは円安の更なる進行に伴う海外からの仕入れコストの増大等が経営成績に一定の影響を及ぼしておりますが、そうした中でも競争力強化と市場シェア獲得のために、商品ラインナップの拡充、利便性の向上、ITシステム投資、広告プロモーション強化などに取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は12,644,593千円（前年同期比10.2%増）、売上総利益は3,216,403千円（前年同期比5.0%増）、営業利益は509,860千円（前年同期比13.0%減）、経常利益は511,580千円（前年同期比12.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は348,655千円（前年同期比7.8%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①物販事業

物販事業におきましては、インターネット通販サイト「BEAUTYGARAGE Online Shop」、全国主要都市のショールーム&ストア+法人営業チーム、カタログ通販誌「BG STYLE」および各グループ会社を通して、理美容機器や化粧品・消耗品等のプロ向け美容商材を、国内外の理美容室、エステサロン、リラクゼーションサロン、ネイルサロン、アイラッシュサロン、フリーランスのビューティシャン向けに提供しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、引き続きECサイトのUI/UXの着実な改善と進化を継続することに加え、取り扱いブランドの拡充を推進し、美容商材流通のプラットフォームとしての役割強化に注力してまいりました。また、国内最大級のネイル展示会（東京ネイルエキスポ2022）への出展、ECサイトとの連動を意識したカタログ3種の発刊、WEB広告の強化など、販促活動にも力を入れてきました。KPIとしては、美容サロンによる当社ECサイト継続利用が増えており、ロイヤルユーザー数、注文件数、PV・アクセス数・UUが大きく増加致しました。一方で、引き続き円安の進行および原材料・輸送費高騰による原価率の上昇という課題にも直面しておりますが、価格転嫁の適宜実施とスケールメリットの創出・販管費の圧縮等によって利益率の低下抑制に努めております。

この結果、物販事業全体としての売上高は10,403,972千円（前年同期比16.1%増）、セグメント利益は460,341千円（前年同期比1.6%増）となりました。

②店舗設計事業

店舗設計事業におきましては、連結子会社である株式会社タフデザインプロダクトにより、東京・金沢・名古屋・大阪・福岡の5拠点において店舗設計・工事施工管理を提供しております。トレンドを捉えたデザイン性の高い店舗設計の提案を行うことで独立開業を目指す顧客から高い支持を得ており、新規開業顧客に加えて、大手チェーン店本部からの受注も獲得してまいりました。しかしながら、当第2四半期では前四半期に続いて人的リソースが不足していることと、前期比ではコロナ影響による一時的な特需の反動もあって、大きく前年実績を下回る結果となりました。

この結果、当事業の売上高は1,510,477千円（前年同期比26.9%減）、セグメント利益は64,579千円（前年同期比59.2%減）となりました。

③その他周辺ソリューション事業

その他周辺ソリューション事業におきましては、ビューティサロンの開業と経営に必要なサポートとして、開業プロデュース、居抜き物件仲介、決済支援、集客支援、講習・アカデミー、損害保険、システム導入支援、店舗リース、M&A仲介、提携ビジネスカード、低コスト電力の供給等の各種ソリューションサービスを、各種専門WEBサイトと全国主要都市のショールームと法人営業部隊、各グループ会社を通して提供しております。また、物販事業、店舗設計事業との連動で顧客に対し、開業支援から経営支援まで幅広いサービスをワンストップで提供することが可能となっております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、各種サービスのうち、店舗リース、提携ビジネスカード、損害保険が堅調に伸長したことにより、当事業の売上高は730,142千円（前年同期比61.6%増）、セグメント利益は75,906千円（前年同期比96.7%増）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2.8%増加し、8,447,179千円となりました。これは、主に売上債権及びたな卸資産の増加によるものであります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末に比べて5.3%減少し、2,208,413千円となりました。これは、主に有形固定資産の減少によるものであります。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1.4%増加し、3,981,967千円となりました。これは、主に仕入債務、未払法人税等及び賞与引当金の増加によるものであります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べて19.4%減少し、927,232千円となりました。これは、主に長期借入金の減少によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて5.1%増加し、5,746,392千円となりました。これは、主に配当金の支払に伴い利益剰余金の減少100,963千円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が348,655千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年6月8日に公表いたしました通期の連結業績予想の修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,686,739	2,308,497
受取手形及び売掛金	2,133,598	2,322,570
リース投資資産	146,279	192,102
営業投資有価証券	219,585	239,888
商品及び製品	2,320,436	2,638,750
仕掛品	119,720	216,205
前渡金	267,938	227,301
その他	332,030	318,779
貸倒引当金	△11,268	△16,915
流動資産合計	8,215,061	8,447,179
固定資産		
有形固定資産	495,768	326,902
無形固定資産		
ソフトウェア	368,140	352,180
のれん	361,218	312,649
その他	26,609	24,429
無形固定資産合計	755,968	689,259
投資その他の資産	1,081,331	1,192,251
固定資産合計	2,333,069	2,208,413
資産合計	10,548,130	10,655,593
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,637,216	1,729,701
短期借入金	15,000	5,000
1年内返済予定の長期借入金	418,252	363,772
未払金	383,073	261,598
未払法人税等	234,339	258,085
前受金	529,202	593,471
賞与引当金	75,516	265,405
その他	635,946	504,932
流動負債合計	3,928,547	3,981,967
固定負債		
長期借入金	810,852	558,286
退職給付に係る負債	6,919	5,988
契約負債	167,415	192,076
資産除去債務	60,877	60,880
その他	104,740	110,000
固定負債合計	1,150,805	927,232
負債合計	5,079,352	4,909,200
純資産の部		
株主資本		
資本金	768,385	768,385
資本剰余金	780,534	781,513
利益剰余金	3,822,488	4,070,179
自己株式	△104,307	△95,065
株主資本合計	5,267,100	5,525,012
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	3,185	9,522
その他の包括利益累計額合計	3,185	9,522
非支配株主持分	198,492	211,857
純資産合計	5,468,778	5,746,392
負債純資産合計	10,548,130	10,655,593

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年5月1日 至2021年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年5月1日 至2022年10月31日)
売上高	11,475,987	12,644,593
売上原価	8,412,228	9,428,189
売上総利益	3,063,758	3,216,403
販売費及び一般管理費	2,477,879	2,706,543
営業利益	585,879	509,860
営業外収益		
受取利息及び配当金	37	507
為替差益	-	3,103
受取手数料	1,911	2,077
助成金収入	2,904	285
その他	1,907	5,516
営業外収益合計	6,760	11,490
営業外費用		
支払利息	3,501	2,450
為替差損	324	-
貸倒引当金繰入額	-	4,000
その他	4,982	3,320
営業外費用合計	8,807	9,770
経常利益	583,832	511,580
特別利益		
固定資産売却益	-	46,431
特別利益合計	-	46,431
特別損失		
減損損失	21,638	-
商品廃棄損	19,471	-
投資有価証券評価損	-	3,291
特別損失合計	41,110	3,291
税金等調整前四半期純利益	542,721	554,719
法人税、住民税及び事業税	231,043	252,163
法人税等調整額	△24,535	△57,805
法人税等合計	206,507	194,357
四半期純利益	336,213	360,362
非支配株主に帰属する四半期純利益	12,869	11,706
親会社株主に帰属する四半期純利益	323,344	348,655

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年5月1日 至 2021年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)
四半期純利益	336,213	360,362
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	6,288	8,566
四半期包括利益	342,502	368,928
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	326,353	354,992
非支配株主に係る四半期包括利益	16,148	13,936

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年5月1日 至2021年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年5月1日 至2022年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	542,721	554,719
減価償却費	103,452	110,715
減損損失	21,638	—
商品廃棄損	19,471	—
のれん償却額	53,978	48,569
投資有価証券売却損益及び評価損益(△は益)	—	3,291
引当金の増減額(△は減少)	173,678	214,481
受取利息及び受取配当金	△37	△507
支払利息	3,501	2,450
固定資産除売却損益(△は益)	766	△47,067
売上債権の増減額(△は増加)	△84,150	△196,971
棚卸資産の増減額(△は増加)	△429,680	△478,105
仕入債務の増減額(△は減少)	△29,247	92,484
前渡金の増減額(△は増加)	117,354	40,637
未払金の増減額(△は減少)	85,266	△119,244
前受金の増減額(△は減少)	129,529	64,269
その他	△199,685	△83,552
小計	508,559	206,168
利息及び配当金の受取額	37	507
利息及び保証料の支払額	△3,398	△2,337
助成金の受取額	2,904	285
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△314,585	△227,575
営業活動によるキャッシュ・フロー	193,516	△22,951
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△11,400	△11,100
定期預金の払戻による収入	17,700	16,200
有形固定資産の取得による支出	△38,715	△6,783
有形固定資産の売却による収入	94	187,636
無形固定資産の取得による支出	△99,556	△64,650
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△6,579	—
敷金保証金の差入による支出	△141,125	△65,025
その他	2,680	5,391
投資活動によるキャッシュ・フロー	△276,901	61,667
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	5,000	△10,000
長期借入れによる収入	420,000	—
長期借入金の返済による支出	△282,216	△307,046
リース債務の返済による支出	△2,435	△2,762
配当金の支払額	△87,988	△100,987
非支配株主への配当金の支払額	△3,877	△5,632
非支配株主からの払込みによる収入	16,396	—
自己株式の取得による支出	△431	△66
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△19,119	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	45,327	△426,495
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,351	14,636
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△35,706	△373,142
現金及び現金同等物の期首残高	2,572,182	2,670,989
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,536,475	2,297,847

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2021年5月1日 至 2021年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
理美容機器・用品	3,981,086	-	-	3,981,086	-	3,981,086
化粧品等	4,691,448	-	-	4,691,448	-	4,691,448
金属スチール家具	285,904	-	-	285,904	-	285,904
その他	-	2,065,589	451,959	2,517,548	-	2,517,548
顧客との契約から生じる収益	8,958,438	2,065,589	451,959	11,475,987	-	11,475,987
外部顧客への売上高	8,958,438	2,065,589	451,959	11,475,987	-	11,475,987
セグメント間の内部売上高 又は振替高	19,158	2,351	2,337	23,847	△23,847	-
計	8,977,597	2,067,940	454,296	11,499,834	△23,847	11,475,987
セグメント利益	453,043	158,208	38,590	649,842	△63,963	585,879

(注) 1. セグメント利益の調整額△63,963千円には、セグメント間取引消去 18,144千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△82,107千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「物販事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては21,638千円であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
理美容機器・用品	4,333,188	-	-	4,333,188	-	4,333,188
化粧品等	5,790,488	-	-	5,790,488	-	5,790,488
金属スチール家具	280,295	-	-	280,295	-	280,295
その他	-	1,510,477	730,142	2,240,620	-	2,240,620
顧客との契約から生じる収益	10,403,972	1,510,477	730,142	12,644,593	-	12,644,593
外部顧客への売上高	10,403,972	1,510,477	730,142	12,644,593	-	12,644,593
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,455	14,801	8,375	36,631	△36,631	-
計	10,417,427	1,525,279	738,517	12,681,225	△36,631	12,644,593
セグメント利益	460,341	64,579	75,906	600,827	△90,967	509,860

(注) 1. セグメント利益の調整額△90,967千円には、セグメント間取引消去14,404千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△105,371千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。